



株主通信

第92期報告書
2022年4月1日～2023年3月31日

株式会社ジャックス

証券コード：8584

ごあいさつ



取締役社長(代表取締役)
COO
村上 亮

取締役会長(代表取締役)
CEO
山崎 徹

目指す姿の実現に向け、事業の成長を加速させていきます

第92期経営成績

株主の皆様には日頃よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中期3カ年経営計画「MOVE 70」の初年度である第92期は、新型コロナウイルス感染症の行動規制が徐々に緩和されたことで、各事業戦略を着実に遂行することができました。

国内では、クレジット事業が年間を通して取扱高拡大をけん引し、将来の収益源となる割賦利益繰延残高の積み上げを図ることができました。海外では、営業施策や加盟店開拓に注力し、進出国すべてにおいて取扱高が拡大しました。その結果、連結営業収益は10期連続で増収となり、連結経常利益は317億円(前年同期比18.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は216億円(同18.2%増)と過去最高益を更新しました。

期末配当金は、当期の業績と配当性向等を勘案した結果、

前期末から10円増配の1株当たり95円となりました。

第93期の見通し

「MOVE 70」の2年目である今期は、デジタル化の加速や各事業が抱える課題と向き合い、「MOVE 70」で掲げた目指す姿の実現に向けて、スピード感をもって動き出していきます。また、資本市場で求められている資本効率についても取締役会で議論を重ね、投資効率を重視した経営に取り組んでいきます。

先行きの不透明感は依然として強く、見通しが難しい事業環境が予測されますが、今期も過去最高益を更新できるように各種施策を実行し、連結経常利益335億円を目指します。

株主の皆様におかれましては、当社の成長に引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

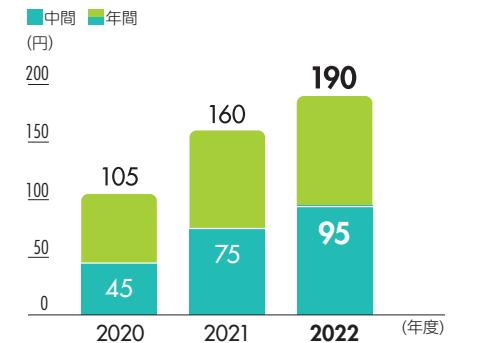
連結営業収益



連結経常利益



配当



MOVE 70の進捗

国内・海外事業の基盤を強化し ESG経営の取り組みを推進

中期3カ年経営計画の初年度は各種施策の展開により当初計画を達成することができました。国内・海外ともに事業基盤を強化し、デジタル化の進展による業務効率化を進め、さらなる業績向上に努めていきます。

営業収益、経常利益推移



あるべき姿

初年度振り返り

強みを活かした国内事業の収益基盤拡充

- 成長市場への施策の展開や新商品・サービスのリリースによる事業領域の拡充
- 業務のWeb化進展による生産性の向上と業務効率の改善

将来の成長をけん引する海外事業の収益基盤の確立

- 各国の状況を踏まえ営業施策を実施、4カ国全てにおいて取扱高及び営業収益が拡大
- 与信精度向上による債権良質化の進展及び回収体制の強化により未収債権を抑制

国内・海外の成長を加速する経営基盤の強化

- デジタル人材育成プログラムによる全社的DXの推進
- 事業ポートフォリオマネジメント、ERMの本格始動による経営基盤の強化

ESG経営の推進

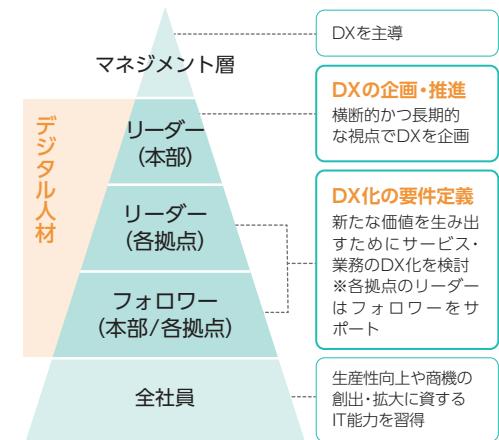
- AIやITを活用した安心安全で利便性の高いサービスを提供
- 蓄電池やEV等の脱炭素関連商品の対応強化及び環境負荷軽減を目的にペーパーレス化の推進強化

Close up!

課題解決を加速させるDX人材の育成

2020年10月に新設したDX推進部では、人事部と協働してDX戦略推進の核となるデジタル人材の育成を進めています。DX戦略を全社横断的にスピード感を持って実行するために、全社員がデジタルに関する基礎知識を身に付けることに加え、各部署がさらに高度な知識・スキルを持つデジタル人材を擁する体制を整えていきます。

2022年度は、1209名にデジタルスキルの基礎研修を実施しました。2023年度は、基礎研修の受講者数の拡大に加え、本部・各拠点でDXを担う「フォロワー」を任命し、各拠点での課題抽出とDXによる課題解決プロセスの確立を進めていきます。



リスクマネジメント体制を構築し、経営基盤を強化

当社は、グループ全体でのリスクマネジメントの高度化を優先課題と捉えています。2023年4月には「リスクマネジメント基本規程」を制定し、リスクの定量化による管理とリスクマネジメント体制の整備を行っています。同規程に基づく「リスク管理委員会」は、傘下の各委員会や各リスク所管部署が管理するリスク状況を一元的に管理・審議し、経営陣に報告します。経営陣は、リスク状況を把握したうえで、適切なリスクテイクと意思決定を行います。併せて、リスクマネジメントの選任部署として「リスク統括部」を新設し、体制の強化とリスクマネジメントのさらなる高度化に取り組んでいきます。

リスクマネジメント体制図



TOPICS

ジャックスアプリをリリース

2023年2月、公式スマートフォンアプリ「ジャックスアプリ」をリリースしました。クレジットカードの利用代金の確認やポイント照会などができるほか、当社が提供する「ラブリエポイント」を「STOCKPOINT for MUFG」でのポイント運用に使用できるサービスを開始しました。アプリを連携することで、日本株、米国株、投資信託などの金融商品への投資を、ポイントを使って疑似体験することができます。今後は、さらに多くのお客様にご利用いただけるように、コンテンツ内容の拡充や新たなサービス機能の追加を実施していきます。

アプリダウンロードはこちら



iPhone



Android



便利な機能が満載!



ゲーム感覚で
ポイント運用できる!



生体認証対応
だから安心



お支払い金額、
ラブリエポイント、
Jデポモー目で確認



お持ちのカードで
まとめて管理

三菱オートリース、ジャックスリース、3社間で資本業務提携を締結

当社はこれまで、個人向けオートリース事業において子会社のジャックスリース、三菱オートリースとの3社間で業務提携を行いサービス向上に取り組んできました。この業務提携の効果を増大させるため、2023年4月にジャックスリースが第三者割当増資を行い、三菱オートリースがその株式

20%を保有することで、3社間の資本業務提携を締結しました。三菱オートリースが資本参加することにより、今後は同社のノウハウを最大限活用しながら、事業規模の拡大を図っていきます。

丸広百貨店との提携カードを発行

当社は、2022年10月1日に、埼玉県内で7店舗展開する老舗百貨店の株式会社丸広百貨店との提携カードの会員募集を開始しました。本提携カードでお買い物するとお得になる割引や特典が受けられるほか、貯まったクレジットポイントを自動的に「まるひろポイント」に移行するサービスが付帯されています。



「ファイターズJACCSカード」誕生

2023年3月に、日本ハムファイターズの新球場「エスコンフィールド北海道」が誕生しました。さらに、球場を含む周辺地域は「北海道ボールパークFビレッジ」として新たに生まれ変わりました。

それにともない、当社は株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメントと提携し、2023年3月27日に「ファイターズJACCSカード」の会員募集を開始しました。本提携カードは、北海道ボールパークFビレッジ内の対象店舗でご利用いただくと、Fビレッジアプリを通じて各種サービスを利用できる「Fマイル」がよりお得に貯まるカードです。



連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～3月31日の1年間)	2021年度	2022年度
取扱高 (百万円)	5,273,264	5,641,393
営業収益 (百万円)	164,070	173,506
経常利益 (百万円)	26,786	31,769
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	18,316	21,651
配当金 (円)	160	190

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△152,023	△214,000
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△7,311	△8,161
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	186,121	246,060

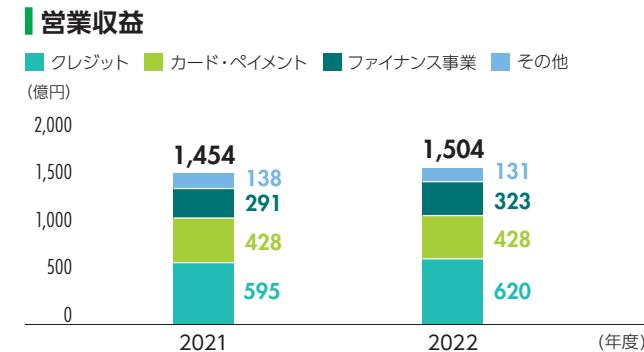
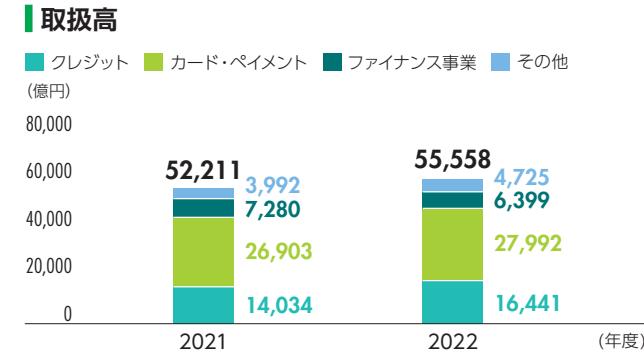
財政状態 (各年度の3月31日時点)

総資産 (百万円)	3,215,006	3,575,732
純資産 (百万円)	192,217	210,605

(注) 金融機関等が保有する貸付金等の債務保証と債権の回収を行う業務に係る保証残高を信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として連結貸借対照表に計上していましたが、当会計年度より会計処理を変更し、連結貸借対照表に計上しないことといたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、2022年3月期についても遡及適用後の総資産額となっております。

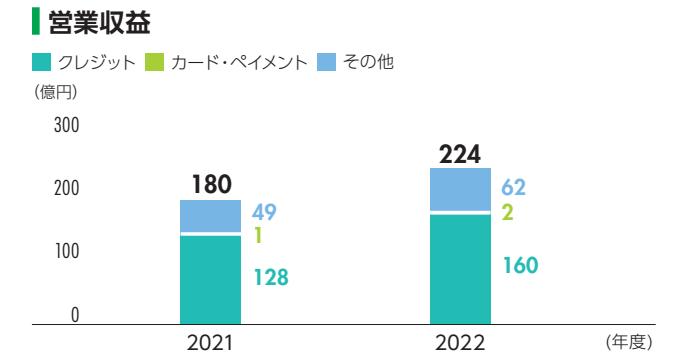
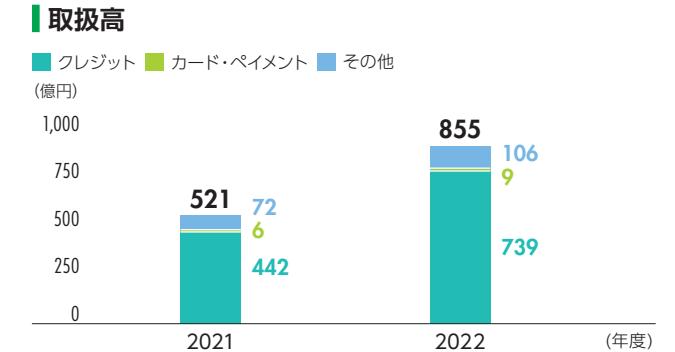
連結セグメント概況

国内事業



(注) 営業収益は金融収益を除いた事業収益を表示しております。

海外事業



POINT

国内事業

- クレジット事業は、高級腕時計や二輪、メディカル等が好調に推移。さらに住宅関連商品やオートローンは、資材や半導体不足の影響を受けながらも施策の効果が顕著に表れ取扱高及び営業収益が増加
- カード・ペイメント事業は、大型提携先でのカード会員数の増加に加え、百貨店やネット通販でのカード利用が好調に推移し取扱高及び営業収益が増加
- ファイナンス事業は、競合他社の攻勢により住宅ローン保証の取扱高が減少するも、保証残高の積み上げにより営業収益が増加

海外事業

- 各国政府による経済支援策を背景に、営業施策や加盟店開拓の強化により取扱高及び営業収益が増加

NEWS

NEWS

1

ブランドサイトをリニューアル！

新サイトでは、ジャックスのブランドメッセージ、小松菜奈さんが出演するCMと広告グラフィック、CMに連動したスペシャルコンテンツを公開しています。スペシャルコンテンツでは、CM「物以上の、物語を。」から生まれたストーリーを、4人のアーティストがイラストで表現。CM動画とあわせてお楽しみください。

「物以上の、物語を。」に込めた想い

何かを買う時、その先には物語がある。買った日をきっかけに何かが変わり、それが生きる力になる。大きな買い物は思いきりが必要だけど、買った物と過ごす日々が今よりも素敵になるように。ジャックスはそんな買い物をするすべての人に寄り添い、背中を押していきたい。そんな想いを込めています。



NEWS

2

新CM公開中！



小松菜奈さん出演のCM「物以上の、物語を。」のシリーズ第2弾をリリース。第1弾に続き、「ためになる消費」をテーマに、買い物を通じて彩り豊かな日々を送る姿を描いています。小松さんが魅せる多彩な表情にご注目ください。



CMはこちら

Cover Story



2023年度の新CM「物以上の、物語を。」シリーズより「華道篇」の一場面を使用。着物を身にまとい、柔らかな表情で花を生きる小松さん。華道の稽古を通して、日本の美しい文化を再発見する姿を描いています。

会社概要/株主の状況

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 株式会社ジャックス
 設立年月日 1954年6月29日
 資本金 161億3,818万円
 本店所在地 北海道函館市若松町2番5号
 本部所在地 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
 従業員数 2,694名

連結子会社 (2023年3月31日現在)

ジャックスリース(株)
 事業内容：リース
 ジャックス・トータル・サービス(株)
 事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店
 ジャックス債権回収サービス(株)
 事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法(サービサー法)」に基づくサービサー

ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)
 事業内容：集金代行・後払い決済

JACCS International Vietnam Finance Co., Ltd.
 事業内容：クレジット、クレジットカード

PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA
 事業内容：クレジット

JACCS MICROFINANCE(CAMBODIA)PLC.
 事業内容：クレジット

JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION
 事業内容：クレジット

株式分布状況 (2023年3月31日現在)



(注)個人・その他には自己株式399千株(1.14%)が含まれております。

取締役・監査役 (2023年6月29日現在)

取締役会長(代表取締役) CEO 山崎 徹	取締役(社外) 鈴木 政士
取締役社長(代表取締役) COO 村上 亮	取締役(社外) 岡田 恭子
取締役専務執行役員CFO 齋藤 隆司	取締役(社外) 三瓶 博二
取締役常務執行役員 大島 健一	取締役(社外) 下森 右子
取締役常務執行役員 外口 利夫	常勤監査役 下河 照和
取締役上席執行役員 太田 修	常勤監査役 奥本 泰之
取締役上席執行役員 小林 一郎	監査役(社外) 村上 真治
取締役上席執行役員 未弘 昭仁	監査役(社外) 小町谷 悠介

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	78,910,000株	単元株式数	100株
発行済株式総数	35,079,161株	株主数	33,293名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,806	8.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,508	7.23
ジャックス共栄会	1,666	4.80
第一生命保険株式会社	1,359	3.92
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.67
ジャックス職員持株会	995	2.87
RE FUND 107 - CLIENT AC	600	1.73
日本生命保険相互会社	588	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.62

(注) 1.持株比率は、自己株式(399千株)を控除して計算しております。
 2.持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたし ます。ただし、事故その他やむを得ない事由 により電子公告をすることができないときは、 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【定時株主総会決議ご通知郵送廃止のお知らせ】

当社は、定時株主総会終了後に決議結果をお知らせするため「定時株主総会決議ご通知」を株主の皆様へお送りしていましたが、地球環境に配慮した省資源化の観点等から、本年より郵送を廃止させていただくことにしました。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。
第92期定時株主総会の決議結果は、当社ホームページよりご確認くださいませ。



株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

